

昔、農村で水車の多かった地区に「伊左見の子供を育てる会」が中心となり、地区住民の募金で水車小屋が建設された。



浜松市は、静岡県下第一の人口を有する工業都市であるが、古くは徳川家康が駿遠経営の本拠とした城下町である。

「森の水車」は、三方原台地より浜名湖へ注ぐ伊左地川流域の市内伊佐見地

つた。

区にある。



データボード④

- ① 静岡県浜松市伊佐地町
- ② 浜松市役所 ☎0534-73-1829
- ③ 木造平屋建20m² 水車：径3.50m、幅0.45m うす3基
- ④ スギ皮屋根



以前は静かな農村で水車があちこちに回っていた当地区も、高度経済成長期以後様変わりし、昔の面影は消えかけていた。このため、地元の「伊佐見の子供を育てる会」が中心となり、子供達の心の郷里づくり運動の一環として、唱歌「森の水車」の作詩者の清水みのる先生の郷土であることにもちなんで水車小屋が建設された。

地区住民の募金により建設された本水車小屋は、子供達の心に夢と希望と郷土を愛する心を育てるとともに、地区住民はもとより広く市民にも親しまれている。